

第2回 横浜市栄公会堂及び横浜市栄スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和3年7月28日(水) 午前10時～12時15分
開催場所	栄区役所新館4階 8・9号会議室
出席者	川邊保孝委員長、相馬一志委員、立木正子委員、中野恵子委員、細田利明委員 (計5名)
欠席者	なし
開催形態	公開、ただし議事3、5及び4の委員の採点及び意見交換部分については非公開(傍聴者5人)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議の公開・非公開について 2 選定方法の確認 3 応募資格等の確認及び財務状況の報告 4 面接審査 5 指定候補者の選定
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 議題2及び4の応募団体によるプレゼンテーション部分は公開とし、議題3、5及び議題4応募団体の面接審査における委員の採点及び意見交換部分について非公開とした。 2 横浜市スポーツ協会・KPB・さかえ区民活動支援協会共同事業体を横浜市栄公会堂及び横浜市栄スポーツセンターの指定候補者とした。 3 委員会の選定結果について、栄区長に報告することとした。
審議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議の公開・非公開について 審査の公平性を担保するため、選定方法の確認及び応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション部分は公開とし、応募資格及び財務状況、応募団体の面接審査における採点及び意見交換部分、指定候補者の選定については非公開とした。 2 選定方法の確認 事務局より採点方法、最低基準点及び選定方法についての説明を行った。 3 応募資格等の確認及び財務状況の報告 事務局より、応募のあった団体が当公募の欠格事項に該当しないことを報告した。 立木委員より、応募のあった団体の財務状況について報告があった。 4 面接審査 横浜市スポーツ協会・KPB・さかえ区民活動支援協会共同事業体によるプレゼンテーションが行われ、以下のような質疑応答があった。 (委員) 応募書類を見ても非常に優れていると思っている。従来夏は暑く、夜間の照明は暗かった。今回の天井工事に伴い空調が入り、電灯がLED化されるのは良いこと。 2つ質問がある。1つは、公会堂の施設そのものはいいが、音響効果が悪い。中学校や短期大学の施設と比べてもいいものではない。そのため、区内の中学校や高校のブラスバンド部などが他の施設に流れている。どのように音響を良くしていくか。 2つ目は、災害対策。栄消防と連携し非常に努力されているのは分かる。災害時の避難誘導訓練はされていると思うが、実際に人がいる中

で避難訓練をされたことがあるか。実際、災害時になると皆パニックになり、密集し、なかなかうまくできない。実際に行っているかお聞きしたい。

(回答) 1点目の公会堂の音響対策については費用がかかるものでもあるので横浜市と調整したい。

2点目の避難訓練に関しては実際行っている。ただし平常時に、御協力いただけるお客様の力を借りられる範囲で行っている。コロナ禍での避難誘導は行っていないため、コロナ禍で密にならない形の避難誘導はあらためて行っていきたい。

(委員) 満足度が高いという今までの成果のお話があったが、実際どのように満足度を測っていて、どのように改善に生かしていくか流れを説明いただきたい。

(回答) 四半期に一回、公会堂・スポーツセンターでそれぞれ100人程度抽出し、毎回同じフォーマットを用い意見をいただいている。教室の参加者を中心に、また、共有部にも紙を置いている。

不満に感じるお客様もいるので、いただいた改善要望に関してはスタッフに回覧し共有し、すぐ改善できるものは改善していく。修繕に関しては優先順位をつけながら改善している。

(委員) 提案の中で新規のサービスとして「サブスクリプションサービス」の導入とあるが、一方で公共施設を特定の人が使いたい放題使うことが、公共施設の意義とどう合致するのか、また、サブスクリプションのサービスは申し込む人が多くて収益が下がる、あるいは、混雑度が上がってしまうという問題も指摘されている。その点についてどのように考えているか。

(回答) 提案書に記載しているのは、当日受付教室7教室を月額で参加いただけるという提案。ターゲットとしては主婦の方。栄スポーツセンターで現在やっている、ズンバ、エアロビクス、エアロビクスボクシング、ヨガ等。すでに参加している方向けを想定している。御指摘の通り、確かに、公共施設の意義については考える必要がある。実際どういうリアクションがあるかまだ分からない。まずはチャレンジさせていただき、御指摘を踏まえ、改善してアップグレードしていきたい。

(委員) 外国の方の利用者はどのくらいいるか。

(回答) 他のスポーツセンターと比較すると栄区は少ないと考えている。ただし、お手洗いの表示やごみの案内の看板については中国語表記もしている。

コロナ対策での感染チェックシートも英語表記で用意している。トレーニング室は定期的に通っていただいている外国の方はいる。これから増えることも考えられるので対応していきたい。

(委員) 栄区のスポーツ団体の大会等の施設利用枠が少なく、利用ができない実態がある。利用枠を増やすように横浜市に要望を行っているか。

(回答) どうしても上限枠が決まっている。過去に御相談を受けたことがある。一般の団体との兼ね合いもある。苦肉の策として過去行ったのは、日曜祝日は年間 30 コマと決まっているので、平日の枠で対応したケースはある。

栄スポーツセンターは第3体育室もなく、大会で場所を取り合う実態はある。できる限り柔軟に対応していきたい。

(委員) 障害者の文化スポーツ活動を施設がサポートする、あるいはインクルーシブスポーツの提案がある。スポーツはかなり充実していると思うが、文化活動としてどのようにとらえられているのか考えを聞きたい。せっかくの合築施設なので両面から考えられるといい。

(回答) 今回の提案書の中ではスポーツにフォーカスした形で記載したが、合築施設なので、障害者の方のスポーツ活動にとらわれず、文化活動にもチャレンジしていただけるよう工夫していきたい。たくさんの方に利用いただけるよう努力していきたい。

5 指定候補者の指定

プレゼンテーション及び面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果が以下の通りとなった。

施設名	団体名	評点／満点
横浜市栄公会堂 及び横浜市栄スポーツセンター	横浜市スポーツ協会・K P B・ さかえ区民活動支援協会共同 事業体	522.2 点／665 点

採点の結果、最低基準点（369 点）を超えていることを確認した。

横浜市スポーツ協会・K P B・さかえ区民活動支援協会共同事業体を横浜市栄公会堂及び横浜市栄スポーツセンターの指定候補者とすることを決定した。

また、選定結果については栄区長に報告することとした。

配布資料

- 1 選定の流れ
- 2 評価・採点について
- 3 選定スケジュール